

《特集》 消化器癌手術に必要な拡大視による局所微細解剖アトラス

I. 食道

- 食道癌根治術における系統的な右反回神経周囲リンパ節郭清
—右反回神経のさまざまな走行……………大塚 耕司 ほか
- 発生学に基づいた右反回神経周囲リンパ節郭清……………大幸 宏幸 ほか
- 気管食道動静脈ネットワークに着目した
縦隔局所微細解剖と両側反回神経周囲リンパ節郭清……………松田 諭 ほか
- 食道癌根治術における左反回神経周囲リンパ節郭清
—交感神経系温存のためのランドマーク……………能城 浩和 ほか
- 食道癌根治術（腹臥位アプローチ）における
左反回神経周囲リンパ節郭清のための術野展開……………小澤 壯治 ほか
- 気管気管支リンパ節郭清における
左気管支動脈温存のための安全なアプローチ……………白川 靖博 ほか
- 胸部大動脈周囲リンパ節郭清における膜構造のポイントと郭清手技……………大杉 治司 ほか
- 胸管をめぐるさまざまな解剖亜型に留意した縦隔リンパ節郭清……………宇田川晴司 ほか
- 高度進行食道癌の切除可能性を見極める拡大視局所微細解剖……………白石 治 ほか
- 経裂孔的縦隔郭清手技における中下縦隔・食道胃接合部の解剖……………塩崎 敦 ほか

II. 胃

- 網嚢切除に必要な解剖の知識と手技……………西脇 紀之 ほか
- 6 番領域の亜分類と微細解剖に基づいた合理的幽門下リンパ郭清……………篠原 尚 ほか
- 幽門保存胃切除における幽門下動静脈の解剖とアプローチ……………熊谷 厚志 ほか
- 腹腔鏡下胃癌手術における
肝十二指腸間膜郭清 (No.5, 12a) の微細解剖と手技のコツ……………木下 敬弘 ほか
- 神経前面の層を意識した脾上縁リンパ節郭清……………岡田 俊裕 ほか
- 膜構造に基づく合理的 No.11 リンパ節郭清……………神田 聡 ほか
- 自律神経温存幽門側胃切除術における
神経の微細解剖と温存のコツ……………五木田憲太朗 ほか
- 脾門部微細解剖と脾温存脾門部リンパ節郭清のコツ……………菊地 健司 ほか
- 傍腹部大動脈リンパ節の解剖手技……………瀧口 修司 ほか

III. 大腸

- リンパ流を考慮した右側結腸癌リンパ節郭清範囲……………金光 幸秀 ほか
- 横行結腸間膜と後腹膜との境界を見極める
—胎生期の消化管形成に基づく微細解剖……………永仮 邦彦 ほか
- 拡大視効果を用いた中結腸動静脈周囲リンパ節郭清……………大塚 幸喜 ほか
- 左結腸動脈温存 No.253 リンパ節郭清をめぐる微細解剖……………山梨 高広 ほか
- 局所解剖の俯瞰の上に拡大視効果を活かした
腹腔鏡下大腸吻合のコツ……………奥田 準二 ほか
- 経肛門の内視鏡アプローチによる TME のランドマーク
—確実な神経温存のために……………愛洲 尚哉 ほか
- 側方郭清におけるランドマークと至適郭清範囲……………川合 一茂 ほか

8. ISR、肛門管における剝離層の微細解剖 塚田 祐一郎 ほか
9. 仙骨合併切除、骨盤内臓全摘出における局所解剖 植村 守 ほか
10. 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清における微細解剖 沖田 憲司 ほか

IV. 肝胆膵

1. Laennec 被膜を理解する一剝離、肝外 Glisson 鞘一括確保のコツ 杉岡 篤 ほか
2. 肝門板の微細解剖—肝門板、胆嚢板、Arantius 板 松山 隆生 ほか
3. 肝静脈還流領域を制覇する
—肝静脈閉塞区域同定、中肝静脈グラフト再建 河口 義邦 ほか
4. ALPPS 手術に必要な肝解剖
—内側区域の肝梗塞回避のための A4 温存手技 田中 邦哉 ほか
5. Caudal view から得られる微細肝臓解剖 新田 浩幸 ほか
6. 右肝の解剖からみた生体肝移植における肝後区域グラフト 吉住 朋晴 ほか
7. 分割肝移植におけるグラフト採取に必要な肝臓解剖 阪本 靖介 ほか
8. 肝門部胆管癌に対する肝右 3 区切除に必要な肝臓解剖 駒屋 憲一 ほか
9. 肝門部胆管癌に対する肝左 3 区切除に必要な肝臓解剖 高屋敷 吏 ほか
10. 肝門部胆管癌手術における
13 番リンパ節を含めた膵頭部周囲郭清のポイント 阿部 雄太 ほか
11. 安全な胆嚢摘出術を理解するための胆嚢壁構造の局所解剖
—SS-Inner layer 本田 五郎 ほか
12. Central vascular ligation に基づいた SMA 周囲郭清 井上 陽介 ほか
13. 腹腔鏡下膵体尾部切除術における
膵周囲の膜および間膜の認識とその活用 宮坂 善浩 ほか
14. 腹腔鏡手術時代の膵頭部解剖—膵頭神経叢を適切に把握する 松下 晃 ほか

(※特集内容は変更になる場合もございます)

編集委員／川崎 誠治・北川 雄光・渡邊 聡明 (五十音順)

手術

第 71 巻第 3 号 (3 月号)

2017 年 3 月 15 日発行 (毎月 1 回 15 日発行)

定 価 (本体 2,700 円 + 税)

年間購読料金 定 価 (本体 42,100 円 + 税)

[年間 13 冊 (臨時増刊号・増大号を含む)]
年間購読者に限り送料無料

発 行 所 金原出版株式会社
発 行 者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
☎ 03-3811-7165 (雑誌部)
03-3811-7184 (営業部)
Fax 03-3813-0288
ホームページ
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>
雑 誌 部 振替口座 00130-1-191269
印 刷 所 横山印刷株式会社
広告申込先 福田商店 ☎ 06-6941-5600

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は金原出版 (株) が保有します。

・JCOPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社) 出版者著作権管理機構 (☎ 03-3513-6969, Fax 03-3513-6979, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。